

消化器外科を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	膵切除後の周術期管理に関する検討
研究機関名	愛知医科大学病院
研究機関の長	病院長 藤原祥裕
担当科等	消化器外科
研究責任者	(職名) 講師 (氏名) 深見保之
試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名	非該当
研究の意義・目的	膵切除後の周術期管理には栄養・リハビリ・感染対策・ドレーン管理などを含め様々な工夫と改善が行われていますが、膵切除自体が高難度手術であり膵液漏などの術後合併症はいまだ一定の割合で発生しています。 膵切除後の周術期管理について、栄養・リハビリ・感染対策・ドレーン管理などを含め多角的に検討・分析し、最適な周術期管理法を見出し、術後短期長期成績のさらなる改善を目指します。
対象となる患者さん	2014年4月から2020年12月までに、愛知医科大学病院消化器外科で膵切除術を施行した患者さん。
研究の方法	愛知医科大学病院消化器外科で膵切除術を施行した患者さんの、周術期管理に関わるデータ(手術、時間、ドレーン排液アミラーゼ値、術後合併症など)を解析し、術後合併症や長期成績に関わるリスク因子を解明します。詳しい研究計画及び研究の方法に関する資料を入手や閲覧することができます。ご希望の場合は、下記問い合わせ先にご連絡下さい。
研究期間	倫理審査承認日 ~ 2024年12月31日
研究に用いる試料・情報	情報：手術、時間、ドレーン排液アミラーゼ値、術後合併症など
外部への試料・情報の提供	なし
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2022年12月31日までに下記問い合わせ先まで申し出てください。
その他	

問い合わせ先	愛知医科大学 医学部外科学講座（消化器外科） 担当者：（職名）講師 （氏名）深見保之 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311（内線 22121）
--------	--